

# 市政を問う

## 10 議員が質問

各議員の顔写真の下にQRコードを掲載しています。このQRコードをスマートフォンやタブレットで読み取ると、その議員の一般質問動画をすぐに視聴することができます。

市民改革クラブ

**松下 昭憲** 議員(12ページ)

1. 七宝焼アートヴィレッジ喫茶店について
2. 新都市計画マスタープランの策定について

公明党

**足立 詔子** 議員(12ページ)

1. 市のプラスチックごみ削減対策は

公明党

**柏原 功** 議員(13ページ)

1. デジタル同報系無線の整備について
2. 粗大ごみ受け付け業務について

公明党

**近藤みどり** 議員(13ページ)

1. 子ども・子育て支援について

令和会

**山内 隆久** 議員(14ページ)

1. ポスト・コロナ時代の市政について
2. 市の土地行政・狭隘道路整備推進について

志政会

**宮地 直宣** 議員(14ページ)

1. 小中学校の配布物について
2. 2期制について

日本共産党

**野中 幸夫** 議員(15ページ)

1. 少人数学級の実現を

新政会

**山本 雄一** 議員(15ページ)

1. 防災について

令和会

**石田 良雄** 議員(16ページ)

1. 不登校について
2. 小学生のランドセルについて
3. 給食について
4. 朝食について

志政会

**横井 敏夫** 議員(16ページ)

1. 新庁舎建設について



新型コロナウイルス感染症対策を行った議場

※会派名は以下のとおり表記しています。

市民改革クラブ（あま市民改革クラブ） 公明党（公明党あま市議団） 日本共産党（日本共産党あま市議団） 志政会（志政会）  
新政会（新政会） 令和会（令和会）

※一般質問の記事の中で「新型コロナウイルス感染症」は「新型コロナ」と表記しています。

## 七宝焼アートヴィレッジ喫茶店について



議員  
市民改革クラブ  
松下 昭憲



議員  
（一問一答方式）

室とは別に、目的外使用の申請をされているが、本来基礎を伴う建築確認申請が必要な建物のため、移転先などが決まり次第、撤去の方向で調整中。確認が不十分で猛省している。

デッキ部分のテーブルなどについては、目的外使用の範囲外だが、テークアウトの際に利用者の利便性が高いようにカフェに面した部分のみ使用を認めた。必要に応じ撤去できることや、カフェ利用者だけでなく、来館者や芝生広場利用者など誰でも利用できることなどの条件を付けている。

**問** 8月1日から経営者が代わり、使用料が減額されているが、根拠は。  
**建設産業部長** カフェ事業者は、特定非営利活動法人で障がい者の自立支援と社会参画に取り組んでいる。その活動の公益性の高さから配慮した結果、

市行政財産の目的外使用に係る使用料条例に規定する市長が特に必要と認めるときにより設備使用料の10分の5を減額。

**問** 外に堅牢な小屋があるが何か。また、所有者は。  
**南側デッキ部分にテーブル、椅子、**

さらに、芝生には大きな花瓶が並んでいるが、目的外使用の面積外の使用ではないか。アートヴィレッジは住民のもの。こんな勝手な使用を認めるのか。  
**建設産業部長** 小屋は、イベントを開催する際に使用する備品などを収納する倉庫で、カフェ事業者の所有。喫茶

**市長** ほかの人の目的外使用も考え、ルールにのっとって行っていく。

他に、新都市計画マスタープランの策定および七宝駅周辺地区の整備計画についても質問しました。

## 市のプラスチックごみ削減対策は



議員  
公明党  
足立 詔子



議員  
（一問一答方式）

める有効な手段の1つである。バイオプラスチック配合のごみ袋の製作は、コスト面を考慮する必要があるため、まずは、ボランティア専用のごみ袋の導入について検討している。

**問** 環境省が提案しているプラスチック・スマートキャンペーンに参加するには。  
**市民生活部長** 本市においても、この

**問** コロナ禍において、テークアウトなどで家庭内のプラスチックごみなども増えているが、市のプラスチックごみ対策は。  
**市民生活部長** 3R運動に加えて、「不要なものを買わない、断る」という「リフューズ」を加えた4R運動の推進を市広報および市公式ウェブサイト

で市民に周知している。  
また、市職員がアマプラごみエコアクションとして、会議などではプラスチック製カップなどの使用は極力控え、マイボトルなどを利用し、プラスチックごみの削減に取り組んでいる。

**問** 環境へ負担が少ないバイオプラスチック配合のごみ袋をボランティア専用のごみ袋に導入しては。  
**市民生活部長** バイオプラスチック配合のごみ袋の導入は、二酸化炭素の削減についてなど、市民の環境意識を高



環境省が海洋プラスチック問題の解決に貢献する自治体などの取り組みを募集し、国内外に情報発信をするプラスチック・スマートキャンペーンのロゴ

## デジタル同報系無線の整備について



公明党 議員  
柏原 功 (一問一答方式)



**総務部長** これを選択肢の一つか、最も有効な伝達手段と考えるかというの  
は難しい判断。いろいろな場面であ  
るような伝達手段があり、効果的な情報  
伝達手段が異なると考える。市民の生  
命、財産、安全を守るためには、改め  
ていろいろ研究していきたい。

### 粗大ごみ受け付け業務につ いて

**問** 市民から「受け付けの電話が、話  
し中でつながらない」とあった。現状  
は。

**民生生活部長** 電話受け付けの傾向は、  
曜日により大きく偏る。月曜日が最も  
多く、週の後半になるにつれ減少し、  
土・日・祝日に最も少くなる。

**問** インターネットの申し込みを増や  
すことが、解決の一つと考える。QR  
コードの導入により申し込みサイトに  
入りやすくなり、電話受け付けの待  
機時に音声ガイダンスの中で、インタ  
ーネットへの申し込み案内を追加し、  
インターネットに誘導できないか。  
**民生生活部長** 検討していく。

## 子ども・子育て支援について



公明党 議員  
近藤みどり (一問一答方式)



がある。受け入れ状況に鑑みて今後研  
究していきたい。

**問** コロナ禍の今、3密を避けるため、  
保育施設入園申請手続きが、無料通信  
アプリLINEなどで電子申請できる  
システムの導入は考えているか。

**福祉部長** 現状では保護者の希望を聞  
き取り、空き状況を踏まえて案内し、  
入園調整ができています。今後は保護者  
の利便性の向上、コロナ禍の状況を考  
慮し、他自治体の実施状況も調査した  
上で、研究していきたい。

**問** 待機児童対策について、①これま  
での取り組みと現在の状況、②隠れ待  
機児童の状況、③今後の課題と対策は。  
**福祉部長** ①これまで民間保育施設2  
園を新たに整備し合計100人の定員  
増や、民間小規模保育所1園を新設し  
17人の定員増を図ってきた。本年度、  
定員19人の民間小規模保育所を整備し  
待機児童ゼロを維持していきたい。②  
9月1日現在で64人。③保育の受け皿  
の確保や小規模保育所の増設など、受  
け入れ先の拡充に取り組んでいく。

**問** 育休退園の廃止に向けた積極的な  
取り組みを急ぐべきと考える。①本市  
の制度、②廃止の問題点および見解は。  
**福祉部長** ①育休中の継続利用対象は  
2歳児以上。育休明け予約制度もある。  
②低年齢児の保育ニーズの増加でゼロ  
歳児、1歳児の入園希望に込めること  
が困難で、待機児童が発生する可能性



市内の保育園

# ポスト・コロナ時代の市政について



議員 山内 隆久 (二問一答方式)  
令和 山内 隆久



**建設産業部長** 国では3密の回避やテレワークの拡大による新しいまちづくりの方向性を検討している。市でも「新都市計画マスタープラン」で新たな時代の柔軟な都市づくりを進めたい。

## 市の土地行政 — 狭隘道路整備推進について

**問** 新型コロナとの厳しい闘いは現在も続いており、社会に多大な影響を与えている。この経験を将来に生かしてほしいが、感染防止のオン・コロナ対策、ウイルスと共生するウィズ・コロナへの対応はどうか。

**市民生活部長** 市では、近隣市町村に先駆けて対策本部を設置し、国・県の動向から市の対策を協議、決定してきた。感染予防が何よりも重要であり、「新しい生活様式」が市民に浸透するよう取り組むことが市の役割である。

**問** 今年は市制10周年、この先の10年を計画する年。デジタル庁などポスト・コロナ時代に向けた考えは。

**企画財政部長** 社会情勢を見極め、まちづくりや、幅広い分野へのICT活用など、具体的施策を検討する。「第2次あま市総合計画」においてポスト・コロナ時代を見据えた施策を検討する。

**問** 狭隘道路【注】は、日常生活上も防災上も、また都市発展のためにも早期に解消すべきだが、整備状況は。

**建設産業部長** 平成29年度の事業開始から約200戸を整備した。現状、地権者の理解と協力の下で進める事業であり、今後も推進に努める。国の補助事業についても研究したい。

**問** 狭隘道路整備と井領は密接な関係があるがどうか。また、管理は。

**建設産業部長** 井領は、市内のほぼ全域に存在している状況であり、詳細な把握については非常に困難な状況である。今後、把握に努めたい。

【注】狭隘道路：主に幅員4m未満の狭い道路。

# 小中学校の配布物について



議員 宮地 直宣 (二問一答方式)  
志政会 宮地 直宣



のだと判断したと理解してよいか。  
**教育長** その判断の下で校長に説明をしてくださないと、このスポーツクラブの人には話をした。

**問** これが前例となり、基準となっていくとの解釈でよいか。

**問** 民間スポーツクラブのチラシなどの児童、生徒への配布基準は。

**教育部長** 各学校へ直接持ち込まれる配布物については、各校長の判断。

**問** 私の知っている経緯とは違うが。教育長の教え子が、「教育長から学校のほうに行ってくださいと言われた」と配布物の依頼に来たら、忖度が行われるのではないか。

**教育長** この件は、各校長の判断でということですが、私が指示した。今回無料体験の実施で、間接的、将来的には営利に結びつくが、このクラブに限らず、子どもたちにいるいろいろな体験の機会を与えてもらえるのは、悪いことではないという判断をした。そして、各校長に話をしてもらい、配ってもらうものについては配ってもらうという判断をした。

**問** 教育長としては配布してもいいものかと判断をした。

他に、「2期制について」も質問しました。

## 少人数学級の実現を



日本共産党 野中 幸夫 議員  
(一問一答方式)



ラスでできているか。

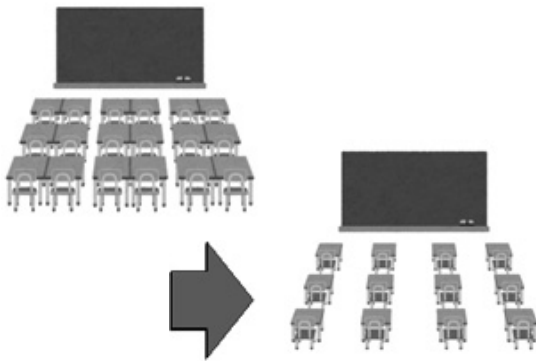
**教育部長** 学校の新しい生活様式で、身体的距離は2メートル、最低でも1メートルとされている。40人学級の定員に近い大人数の学級では物理的に限界がある。

**問** 新型コロナに伴う一斉休校によって子どもたちの学習の遅れは。  
**教育部長** 解消するため努力している。

**問** 文部科学省は、誰一人取り残すことなく学びを保障してほしいとしているが。

**教育部長** 海部管内独自のカリキュラムで、今年度は対応していきたい。

**問** 市内のある小学校の学校だよりでは、「学校が再開して1カ月余り、一見普段の学校生活が戻ってきたかのように見えます。…しかし、感染症はまだまだ心配が尽きません。先生方は、教室や体育で使用したものの消毒作業を続けています。子どもたちの健康・安全を考えて、一生懸命取り組んでいます。マスクの着用と手洗いは随分できるようになってきました。身体的距離の確保を見直していきたい」となっている。身体的距離の確保は、全てのク



**教育部長** 教室数の不足がネック。1日でも早く35人学級が実現するように今後とも努力をしていきたい。



新国会 山本 雄一 議員  
(一問一答方式)



## 防災について

な課題について研究していく機会が必要だと思うが、新型コロナ、インフルエンザといった感染症の対応も含めて、防災対策に関して組織横断的に研究会や検討会を実施しているか。

**総務部長** 実施していないが、計画の見直しを実施する際など防災対策について組織横断的に取り組みたい。

**市長** 有事に全職員が率先して災害に対応できるよう職員の訓練を増やし、若手を中心とした勉強会も開きながら、さまざまな視点で対応できるように検討していく。

**問** 新川流域は特定都市河川流域に指定されており、総合的な治水対策として、治水施設の早急な整備の実現だけでなく、雨水貯留施設の整備、農地の保全など、保水・遊水機能の確保に努めると防災計画にある。調整池などは、稲沢市約1万立方メートル、清須市約1万6千立方メートル、岩倉市約4千立方メートル、江南市約1万4千立方メートル、扶桑町約8万立方メートル、名古屋市は約12万立方メートル、大治町1200立方メートル整備されている。本市は調整池などの整備はなく、雨水貯留浸透施設の整備のみ。新川流域総合治水対策としても、最近の豪雨からも、今後、調整池などの整備を進めてほしいが、研究しているか。



避難所運営訓練でテントを組み立てる職員

**問** 関係部局が一堂に会している

**建設産業部長** 中長期的な観点から排水路改修や調整池整備の必要があるの

で、整備実現に向けて検討していく。

## 不登校について



議員 石田 良雄 (二問一答方式)



な議論には至らず、今後も検討する。

**問** 熱中症対策にもリュックサックなどのほうがよいが、当市では。

**教育部長** 市内の校長会議で、暑さ対策としてリュックサックなどの使用を認めている。

### 給食について

**問** 過去3年の食べ残しの状況は。

**教育部長** 小、中学生とも減少傾向。

**問** 今後の取り組みは。

**教育部長** 毎月、献立検討会を開催。社会科や家庭科などの学習において関連づけ、食べ残さないようにする心や食への感謝の気持ちを育てていく。

### 朝食について

**問** 朝食は、集中力も体力もつくと言われているが、本市の取り組みは。

**教育部長** 毎月の給食だよりや年2回の保護者向けの食育だよりなどを配布し、食育の推進や啓発に努めている。

### 小学生のランドセルについて

**問** 去年6月の定例会でも質問したが、どのように検討したか。

**教育部長** 教育委員会で意見交換をしているが、ランドセルの統一や、リュックサックの使用など大きな転換が必要

## 新庁舎建設について



議員 横井 敏夫 (二問一答方式)



庁舎の設計変更はまだ可能か。

**総務部長** 見直し内容にもよるが、現段階で設計変更は可能。

**問** 感染症流行対策は。

**総務部長** 新型コロナは想定していなかった。設計変更を監理業者、CM業者にて検証している。

**問** 新庁舎建設の財政負担は。企画財政部長 交付税措置のある市債を活用し、財政指標の目標値を定め、総事業費の圧縮に努めている。

**問** 返済計画は。

**財政課長** 30年間の償還期間、最大で年間約3・6億円を見込む。

**問** 経費節減が、新庁舎建設の大きなコンセプトではないか。

**市長** 経費は下げたほうがいい。コストカットを含めコンストラクション・マネジメント(CM)業者を活用。

**問** 設計図に書き込まれた特定商品はいくまで参考で、そのまま採用するのではないということか。

**総務部長** 施工業者、監理業者やCM業者と協議しながら精査し、判断する。

**問** 震災や河川氾濫、新型コロナなどの環境変化に対し、想定外と言わないよう、できるだけのことを織り込む新



造成工事が進む新庁舎建設予定地

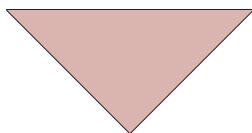
# 追跡 一般質問

## その後どうなった？

1年前に行われた一般質問の結果を報告します。

### 質問

ICT（情報通信技術）により今後取り組むべき事業は。



### こうなった

RPA【注】を令和2年6月末に導入完了。会計課では源泉徴収票作成などの運用を開始。その他にも税務課などで導入するため業務調査を行っている。

議事録作成支援システムは、令和2年6月より運用開始。現在、議事課などで活用している。

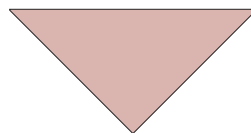
【注】RPA (Robotic Process Automation) …これまで人間のみが対応可能と想定されていた作業などを人間に代わって実施できる技術を活用した業務を代行・代替する取り組みのこと。



議事録作成の効率化に役立っています。

### 質問

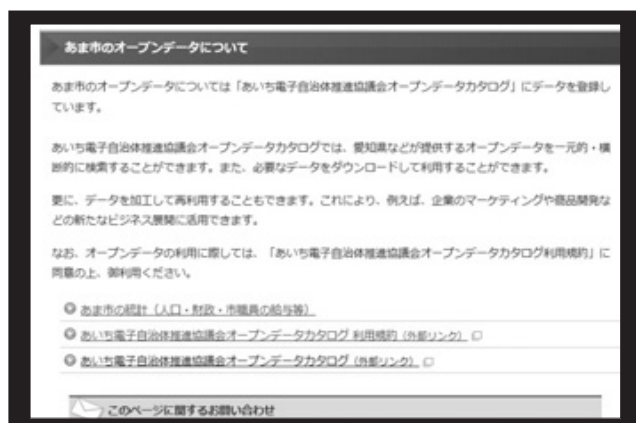
行政機関が保有するオープンデータの公開は考えているか。



### こうなった

市公式ウェブサイトにあま市オープンデータのページを作成し、公開を開始。これにより、県のオープンデータ取り組み自治体一覧に掲載され、より多くの事業・サービスに利用されることを期待している。

また、現在は、人口情報のオープンデータの公開に加え、AEDの設置場所一覧も公開を開始した。



県のオープンデータカタログからご利用いただけます。